

神代種亮 かみじろう 書誌研究家。明治十六年六月十四日島根縣生れ、昭

和十一年二月十日歿（二八三—一九三）。筆名ありじろう、かみじろう、かぬ

すけ、七松庵、七松庵主人、加字字吾、好字弄、好字老、常葉堂主人、

常葉子、常葉山人、常葉生、往来甲子、次字老、攻辭老、攻辭郎、春

哥兒、木克庵、朱量生、校字老、校字郎、校梓樓、甲乙生、甲乙、甲

乙郎、甲生、神代生、神種、種亮、考字弄、考字老、蚊三子、蚊鶴

城、蚊字弄、蚊字老、鬼各母、丁生、丁・ト、丁ト生、丁・ト生等。

島根縣師範學校卒。漢字の精通し、親父のあつた永井荷風の他、森鷗

外、芥川龍之介等の著書の校止に當る。雜誌『校止往来』等々發刊。

編著書、廣池千九郎著『教授として大理想』(編、大正二年十一月八日

白月社『現代百科文庫東京教養書』)、大町桂月著『桂月隨筆近年の我輩』(校、

大正十四年十月十一日興文社)、菊亭香水著『慘風悲雨世路日記』(校訂、

大正十五年十一月二十日東京堂『明治文學名著全集』)、永井荷風著

『くらんす物語』(校訂、昭和七年十月五日春陽堂『春陽堂文庫』)、

『明治文化研究論叢』(合著・明治文化研究会編、昭和九年四月七日

一元社)等。